

【姿の期 師走】

京都市立下京中学校
校長 安居 昌行

「振り返って自分を見つめる」

年の瀬が近づいてきました。8月後半に始まった「姿の期」も残りわずか。そろそろ今年を振り返ってみる時期になりました。新聞やテレビでは、一年を振り返ってニュースをまとめたり、映画や本、芸術作品などの評価をまとめたりしています。みなさんの一年はいかがでしたか。姿の期を間もなく終えるこの時期、一度自分のこの4か月をちょっと振り返ってほしいと思います。

ところで、人は振り返るとき、あのときもっとうすればよかったと「反省」することが多いと思います。反省することはとても重要で、次の工夫改善につなげることができます。と同時に、うまくいったこともふり返ってみることも大切だと思います。なぜうまくできたのか、何が良かったのかと一つ一つを掘り起こすことによって、次のステップを大きく飛躍させる原動力ともなると思います。

群馬県の元中学校体育教師で、手足の自由を失い、口に絵筆を加えて詩画集を描いている星野富広さんの作品に次のようなものがあります。

「川の向こうの紅葉がきれいだったので 橋を渡って行ってみた ふり返ると さっきまでいた所の方がきれいだった」(『あなたの手のひら』紅葉の絵に添えて)

振り返ってみて、自分の素晴らしい「姿」を、仲間がきらめいている「姿」を見つめることから、新たな自分に気づき、磨いていくこともできると思います。そして、自分や仲間の良さを確認し、自信をもって次のステップへと歩みだしてほしいと思います。

星野さんの作品の中からもう一つ。「天気予報が雪を告げる日それでもオレンジ色の蕾を用意して 咲いている一枝のバラ 生きるってこういうことなのか」



〈東本願寺前から京都タワーをふり返る〉